

観光文化局

一般会計要求総額

7,997,131千円

(対前年度 +8.0%)

< 要求の基本的考え方 >

市民が文化芸術やスポーツを通して、この街に住むことに誇りを持てるような魅力あるまちづくりを進める。

国内外の多くの人たちが交流し、活気あふれる「集客交流都市さっぽろ」を実現させる。

(単位：千円)

	一主要事業一	要求額
未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実	子どもの美術体験事業費補助	7,964 [文化 部]
	子どもの映像制作体験事業費補助	1,650 [文化 部]
	Kitaraファーストコンサート事業費補助	27,851 [文化 部]
札幌の特色を活かした文化芸術の振興	サッポロ・シティ・ジャズ事業費補助	20,102 [文化 部]
	パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助等	215,310 [文化 部]
	(仮称) SAPPOROアート&コミュニケーター整備	520,245 [文化 部]
	文化財施設維持保存事業	56,131 [文化 部]
スポーツを楽しむ環境の充実と健康づくりの推進	子ども体力向上事業	6,000 [スポーツ部]
	さっぽろスポーツキャラバン隊事業	6,000 [スポーツ部]
	地域スポーツクラブ支援事業	4,000 [スポーツ部]
	ルディック記念ウインタースポーツ活性化事業	9,700 [スポーツ部]
新たな集客交流資源の創出と魅力の発信	さっぽろ雪まつり魅力アップ事業	68,000 [観 光 部]
	藻岩山魅力アップ事業	62,444 [観 光 部]
	さっぽろオータムフェスト事業	50,000 [観 光 部]
	観光都市さっぽろ推進事業	22,000 [観 光 部]

● 多様な芸術文化に親しみ、交流・発信する環境づくり

サッポロ・シティ・ジャズ事業費補助

札幌独自の都市型ジャズフェスティバルを創造していくため、市内各所でのライブ演奏の他、海外との交流、子どもを対象としたワークショップなどの事業への支援を行います。



事業費：20,102(20年度予算額 18,000)
 主な内訳：事業費補助金 19,952
 事務費 150
 達成目標：イベント観客動員数
 H18 4,000人 H22 100,000人
 21年度効果：+4,979人

● 多様な芸術文化に親しみ、交流・発信する環境づくり

(仮称)SAPPOROアート&コミュニケーター整備

16年3月に閉校した中央区旧曙小学校の跡施設を活用して、文化芸術と地域の融合を目指した、市民レベルの文化芸術活動拠点を整備します。



事業費：520,245(20年度予算額 54,700)
 主な内訳：改修工事費 491,628
 工事監理費 12,906
 達成目標：文化芸術団体と地域との交流イベント数
 H18 1回 H22 4回
 21年度効果：+1回

● 文化遺産の保存・活用と伝統文化、先住民族文化の継承

文化財施設維持保存事業

文化財を良好な状態で保存・活用し後世に継承していくため、時計台バリアフリー化設備設置など、適切な維持・管理に努め、計画的な整備・補修などを行います。



事業費：56,131(20年度予算額 2,300)
 主な内訳：時計台バリアフリー化設備工事 28,463
 豊平館整備検討費 20,404
 達成目標：補修工事等実施施設数
 H18 1施設 H22 5施設
 21年度効果：+1施設

● ウィンタースポーツの活性化

ルディック記念ウィンタースポーツ活性化事業

低迷傾向が見られるウィンタースポーツの活性化を図るため、ノルディックスキー世界選手権札幌大会の剰余金を活用して、子どもを対象としたウィンタースポーツの体験事業などを展開します。



事業費：9,700(20年度予算額 12,600)
 主な内訳：ウィンタースポーツキャンプ等委託料 8,200
 スキー授業支援負担金 300
 達成目標：ウィンタースポーツをする人の割合
 H18 13.0% H22 20.0%
 21年度効果：+3.0%

● 観光魅力づくりの推進

藻岩山魅力アップ事業

自然環境に配慮しながら山頂展望台などの再整備を行うほか、「藻岩山の日」などのソフト事業を展開することにより、藻岩山のさらなる魅力アップを図ります。



事業費：62,444(20年度予算額 36,300)
 主な内訳：札幌紹介施設上映コンテンツ制作業務委託料等 48,650
 藻岩山周辺環境等整備事業補助金 13,325
 達成目標：藻岩山の入場者数
 H18 502,430人 H22 533,260人
 21年度効果：+7,764人

● 観光魅力づくりの推進

さっぽろオータムフェスト事業

大通公園において「北海道・札幌の食」をメインテーマとした集客イベント「さっぽろオータムフェスト」を開催し、秋の集客増と賑わいの創出を図ります。



事業費：50,000(20年度予算額 30,000)
 主な内訳：実行委員会への負担金 50,000
 達成目標：来場者数
 H18 人 H22 800,000人
 21年度効果：+100,000人

< 主な見直し項目(効果額) >

- ・一般事務費の節減 23,522
- ・事業の担い手による見直し 7,268 (写真ライブラリー展覧会事業費補助金の見直し、学校開放運営事業の見直し)